

本年もよろしく

お願いいたします



岩手県職員労働組合
役職員一同



号 外=新年特集号

2016年1月4日 発行

発行日 毎月15日30日
発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内
岩手県職員労働組合
印刷所 盛岡市上田二丁目17-4
有限会社 ジロー印刷企画
一部 40円
組合員購読料は組合費に含む

謹賀新年

2015県職労組織集会



2016年今年もよろしく申し上げます

- | | | |
|----------|--------|---------------------|
| 中央執行委員長 | 小野 演彦 | (二戸支部・農林振興センター分会) |
| 副中央執行委員長 | 高橋 伸明 | (県庁支部・税務課分会) |
| 同 | 小田嶋 智昭 | (花巻支部・空港事務所分会) |
| 書記長 | 大崎 勝弘 | (県庁支部・森林保全課分会) |
| 書記次長 | 小澤 豊和 | (県庁支部・資源循環推進課分会) |
| 中央執行委員 | 中川 理恵 | (胆江支部・農政部分会) |
| 同 | 石塚 佑紀 | (盛岡支部・保健福祉環境部分会) |
| 同 | 多田 康洋 | (盛岡支部・産業技術短期大学分会) |
| 同 | 口岩 喜幸 | (釜石支部・土木部分会) |
| 同 | 佐藤 睦子 | (二戸支部・農林振興センター分会) |
| 同 | 佐々木 辰治 | (県庁支部・建築住宅課分会) |
| 同 | 右京 隆二 | (盛岡支部・畜産研究所分会) |
| 同 | 千葉 守 | (一関支部・農業改良普及センター分会) |
| 同 | 宮澤 真由美 | (花巻支部・総務センター分会) |
| 同 | 鳥屋部 圭 | (一関支部・県税センター分会) |
| 県庁支部長 | 長沼 英友 | (自然保護課分会) |
| 盛岡支部長 | 加藤 秀樹 | (保健福祉環境部分会) |
| 花巻支部長 | 藤原 彰 | (県税センター分会) |
| 北上支部長 | 類家 昭義 | (農村整備センター分会) |
| 胆江支部長 | 佐藤 力也 | (土木部分会) |
| 一関支部長 | 野口 隆久 | (土木センター分会) |
| 気仙支部長 | 藤村 敏 | (土木センター分会) |
| 釜石支部長 | 多田野 修 | (農林部分会) |
| 宮古支部長 | 千葉 忠明 | (農林振興センター分会) |
| 久慈支部長 | 佐藤 一哉 | (林務部分会) |
| 二戸支部長 | 中村 康之 | (農林振興センター分会) |

組合員の皆さん、新年明けましておめでとうございます。昨年とは異なり、新年明けましておめでとうございます。新しい年はやってきます。一年の始まりは、心穏やかに過ごされたでしょうか。

さて、昨年を振り返ると、県人事委員会は2年続けて「一時金の引き上げ、月例給のプラス改定」を勧告する一方で、またもや公務員給与を引き下げる「給与制度の総合的見直し」も勧告しました。加えて、政府は8月に国家公務員給与の改定にかかる人事院勧告がなされているにも関わらず、その取扱いを明確にせず、年内の給与改定を議会提案できず、その結果、県においても給与改定を議会提案できず、年内改定を先送りせざるを得ない状況となりました。こうした厳しい情勢を通じて、今一度、これまでの私たちの賃金闘争をはじめとした県職労運動を振り返らざるを得ません。



中央執行委員長
小野 演彦

組合員の皆さん、新年明けましておめでとうございます。昨年とは異なり、新年明けましておめでとうございます。新しい年はやってきます。一年の始まりは、心穏やかに過ごされたでしょうか。

さて、昨年を振り返ると、県人事委員会は2年続けて「一時金の引き上げ、月例給のプラス改定」を勧告する一方で、またもや公務員給与を引き下げる「給与制度の総合的見直し」も勧告しました。加えて、政府は8月に国家公務員給与の改定にかかる人事院勧告がなされているにも関わらず、その取扱いを明確にせず、年内の給与改定を議会提案できず、その結果、県においても給与改定を議会提案できず、年内改定を先送りせざるを得ない状況となりました。こうした厳しい情勢を通じて、今一度、これまでの私たちの賃金闘争をはじめとした県職労運動を振り返らざるを得ません。

組合員の皆さん、新年明けましておめでとうございます。昨年とは異なり、新年明けましておめでとうございます。新しい年はやってきます。一年の始まりは、心穏やかに過ごされたでしょうか。

さて、昨年を振り返ると、県人事委員会は2年続けて「一時金の引き上げ、月例給のプラス改定」を勧告する一方で、またもや公務員給与を引き下げる「給与制度の総合的見直し」も勧告しました。加えて、政府は8月に国家公務員給与の改定にかかる人事院勧告がなされているにも関わらず、その取扱いを明確にせず、年内の給与改定を議会提案できず、その結果、県においても給与改定を議会提案できず、年内改定を先送りせざるを得ない状況となりました。こうした厳しい情勢を通じて、今一度、これまでの私たちの賃金闘争をはじめとした県職労運動を振り返らざるを得ません。

みんなの二歩で職場や社会を変える年に！

かつて、公務員給与を巡っては、1982年の人勧完全凍結、翌83年の勧告値切り(改定率を縮減)、84年の値切りが続ききました。当時、政府は「行政改革」を合言葉に「公務員給与の削減」を強行しました。先輩たちの多くが、その暴挙に「ストライキ」により対決した歴史があります。

私たち公務員は、賃金交渉するための労働基本権が制約されています。その代償措置が「人勧制度」です。働くものの権利を制限しておきながら人勧に責任を負わないことは、言語道断です。

さらに、職場を見ると、昨年は職場の仲間が現職で亡くなるという事例が多く発生しました。とても残念でなりません。残された家族や仲間の心痛を思うとき、労働組合がやるべきことを、もう一度確認していくことが必要だと思います。

職場で人が足りていますか？休暇が取得できていますか？体調を崩していませんか？泣いている仲間はいませんか？

組合員の皆さんのひとりひとりの不満や不安を心に仕舞ってはいけません。何も変えることはできません。皆さんの勇気ある少しの行動が、職場や社会を変えていく原動力になります。

みんなの少しづつの一歩で、少しづつの変革をめざす、そんな一年でありたいと思います。

今年はずいぶん「申」年!

2016年の干支は「申(さる)」で「子から始まる十二支の9番目。干支十二支では「丙申(ひのえさる)」とされています。

中国では、申は悪魔退散のお守りとして大事にされていたようです。古い話では、三蔵法師が唐から天竺まで

2004年 (平成16年)

04確定闘争では、公民逆格差がある指摘された中であつたが、県人勸では賃金・一時金の減額改定の動きに歯止めをかけることができた。

寒冷地手当については、他県では順次改悪されてい

た。当県でも、宮古市、釜

石市や大船渡市をはじめ沿

岸、県南の9市町村が「支

給解除地域」に指定された

が、粘り強い交渉により、

経過措置を「4年間」に拡

大させることができた。ま

た、国の「勤務地認定方式

から県独自の「居住地認定

方式」に転換できたため、

単身赴任者を支給対象とさ

せることができた。



寒冷地手当削減問題で地公共闘が人事委員会と交渉 (9・16)

行った道中の馬の鞍に猿のぬいぐるみがお守りとして入っていたそうです。それが日本に伝わって、厩(うまや)の守護神として尊ばれ、馬の厄除けとして猿飼いが祈禱して回ったのが、猿回しとか。元々、申は稲妻を表す象形文字で「電」の原字であり、まっすぐに伸びるといふ意を含んでいます。中国の前漢の歴史を記した「漢書」では、「申堅」(シンケン)とし、草木が伸びきり、果実が成熟して堅くなつていく状態を表すと解されているそうです。最近の申年はどんな出来事があつたでしょうか? ちよつと振り返ってみます。

1980年 (昭和55年)

民間企業の仲間と共に「春闘共闘」を組織し、取り組んだ。ボーナス支給がなかつた労組の仲間等に団体・連帯のモチ代カンパ335万円余を送った。全日本自由労働組合盛岡分会からは、「ビルメン労働者は毎年3月の委託契約時には継続雇用されるか不安を抱えながら闘い、ボーナス交渉では、採用6ヶ月未満の者に支給しないという会社の態度を打ち破れず涙を

流した。仲間の連帯に感謝する」と挨拶状が届いた。

4月16日には、定年制法制化阻止・退職手当10%カット阻止に向け、2時間ストライキを執行した。これまで、総務部長交渉をもつたが、当局は国まかせ人事院まかせの態度を変えず、交渉でも当事者としての責任を全く放棄した態度に終始し、交渉決裂したため、要求の前進を勝ち取るためにストライキへ突入となつた。会場になつた東宝第1

劇場には、座りきれない組

て取組を強めていくことを確認した。

また、退職時特別昇給の見直しの攻撃に対しては、国が制度を廃止したことを受けて、他県においても廃止の動きが大勢を占める中、「在職時死亡」(1号)の制度を残すことができた。

その他、育児休業者の昇給延伸について復帰後3年(それまで4年)で回復さ

せた。また、遠距離通勤者などに多い通勤途中の借上げ駐車料金に係る通勤手当の加算(パーク&ライド方式)について翌年3月までに結論を出す回答を引出した。さらに、人事異動の早期内示(内示後土日3日確保)、超過勤務予算の増額補正等の前進回答を勝ち取

つた。

三六協定の締結についても当局に明言させたことか

ら、職場の人員要求と併せ

て取組を強めていくことを確認した。

新潟県中越地震

消費税の内税表示の義務化



80春闘勝利 4・16県職労中央集会(東宝第一劇場)

1992年 (平成4年)

1月に人事課長交渉を行い、「特殊勤務手当引上げ」「臨職等の賃金引上げ」について考えを質した。結果、「食鳥検査手当」を支給することなど回答を引出した。臨職等の賃金も一般職の給与改定と同程度に賃金引上げをすることで合意した。

2004年の音楽

Mr.Children、平原綾香「Sign」、平原綾香「Jupiter」、ORANGE RANGE「花」

2月には、花巻市で「自治労安全衛生・職業病対策集会」が開催され、全国から450人が集まった。集会に参加した坂本壽明さんから、「自分も安全衛生委員。一人も仕事の犠牲者を出さない職場にするためには、どういう環境が必要かを考えていきたい。みんなの健康あつての仕事。何か問題がある時は一人で悩むことなく、みんなで解決に向けて考えていこう」と感想が寄せられた。

職場では、ワープロが普及した時期だった。県職員安全衛生管理委員会や人事課交渉では、作業環境などの基準を策定するよう求め

てきた。労働省は85年にガイドラインを作ったが、当

県では労働安全衛生教育も

されないまま、機械だけが

次々導入されていた。策定

させた指針には、県職労か

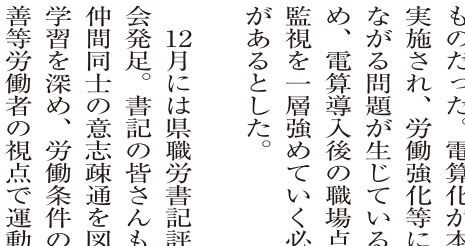
ら要求した健康診断の実施

や妊娠中の職員の作業時間

軽減についても盛り込ませ

た。

8月には、当局が一方的



県庁正面入り口は横断幕で入庁阻止 (4.16)

12月には県職労書記評議会発足。書記の皆さんも、仲間同士の意志疎通を図り、学習を深め、労働条件の改善等労働者の視点で運動を

推進してきた。仕事上の参加から、主体性をもった運動として参加し、同じ自治労運動を担っている仲間として取組でいく決意が出された。

1億円拾得事件

モスクワオリンピック(日本はボイコット)

電力・ガス料金大幅値上げ

ジョン・レノン銃殺事件

1980年の音楽

もんだ&ブラザーズ「ダンス・オールナイト」、久保田早紀「異邦人」、クリスタルキング「大都会」、シヤネルズ「ランナウェイ」

8月には、当局が一方的減計画を通知。自治省が定める「モデル定数」は5428人だったが、本県の実員数はそれより242人少なく、慢性的な不払い残業や、休日出勤をしていた。全分会アンケートでは、「根拠のないカットはいい加減にしろ」「人員削減したい人は、私の席に座って私の仕事をしてみてください」等の怒りの声が出

された。110分会から不払い残業の実態も明らかに

なり、白紙撤回要求を強く求めた。

11月の総務部長交渉では

新幹線通勤者に対する通勤手当改善が行われ、「距離60km以上かつ時間短縮効果が30分以上」の職員に支給されることになった。そして、現業職員の昇給昇格基準の改善では、6級昇格基準については「55歳かつ5級在級9年で6級昇格」とする回答を引き出し、実質5級での退職者解消につなげた。また、新採用職員に対する「赴任旅費の支給」についても強く求め、来年度から支給されることになった。当時の座り込み行動で、佐藤伸一書記長から、「交

渉に応じない当局を動かしたのは、各地から集まった組合員の力。当局にとって一番怖いのは現場組合員が本気で怒ること。座り込みはつらい。でも、そうしなければ真剣に向き合えない当局に問題がある。」とコメントした。

毛利衛さんが宇宙へ出発

天皇、初の中国訪問

尾崎豊さんが死去

新幹線「のぞみ」運転開始

1992年の音楽

米米クラブ「君がいるだけで」、浜田省吾「悲しみは雪のように」、とんねるず「ガラガラ蛇がやってくる」

サザンオールスターズ「涙のキッス」

あけましておめでとーございませう

参議院議員 吉田 忠 智 (社民党党首)

参議院議員 又 市 征 治



安倍政権の暴走を止めるため7月に行われる参議院選挙は、今後の方向をも左右する非常に重要な選挙となります。働く者が真に大事にされる社会を作るためにも皆さんと一緒に頑張って頑張ります。



憲法理念を活かし、働く仲間の生活と権利を守るため全力で参議院選挙を闘い抜く決意です。「吉田だとも」の支持の輪を広げていただき、働く仲間の議席を再び勝ち取っていただきますようお願いいたします。